

Published since 1971

日工販NEWS

May
2022

工作機械業界への知見を広げ、日工販会員の絆を深める広報誌

花菖蒲とサギ



日本工作機械販売協会
JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION



ロボキテル!!

産業用ロボット・自動化システムの専門展

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2022

ロボットテクノロジージャパン

期間 2022年 6月30日(木) ▶ 7月2日(土)

開催場所 Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

開催時間 10:00 ~ 17:00 入場料 大人1人 1000円

ただし、公式Webサイトからの事前登録者、海外来場者、学生は無料

【出展製品】垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、
ガントリーローダー、AGV/AMR、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキング
システム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、
ソフトウェア、AI・IoT関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など
※サービスロボットや介護ロボットなどは対象外

【主催】ニュースダイジェスト社 【共催】愛知県機械工具商業協同組合 <https://robot-technology.jp/2022>

製造業から物流、食品、包装まで、自動化の未来が見つかる

May
2022



花菖蒲とサギ

撮影：中島 和彦（日工販 専務理事）

SE 合格者に
ご回覧をお願いします。

CONTENTS

- 2 巻頭言
「今こそ『人材』の確保と育成を」
日本工作機械販売協会 理事 加藤 幸博
- 4 分かりやすい話題の技術
「小型旋盤の機内で使える測定器シリーズ」
大昭和精機株式会社 土居 正幸
- 6 私の読書評
「美しき愚かもののタブロー」
三井物産マシンテック株式会社 厚地 慶子
- 7 リレー随筆
三菱商事テクノス株式会社 鈴木 壮
- 8 私の健康法
住友電気工業株式会社 高山 保司
- 9 感動したスポーツの名場面
「ラグビーに奇跡はない。」
宮脇機械プラント株式会社 中村 龍二
- 10 ひとくち豆知識
「SDGs への取り組み」 シチズンマシナリー株式会社 山崎 英徳
- 12 私の好きなお店
「cafe & kitchen COWAPPERS (コワッパーズ)」
首都圏リース株式会社 宮川 拓実
- 13 会社生活に於ける私の初〇〇
「初めての海外出張」 株式会社 U-MACHINE 印出井 崇誠
- 14 海外だより
「きめ細やかなサポートを」 FANUC Europe GmbH 宝利 光一
- 16 工作機械と私
誠和エンジニアリング株式会社 戸時 秀一
- 17 SE 教育
日工販 SE 合格者 第 237 回発表
- 18 事務局だより
- 19 お知らせ
「日工販ニュース表紙写真の公募について」
- 20 統計資料
「工作機械・FA 流通動態調査 1」「工作機械・FA 流通動態調査 2」
「マシニングセンタ動向 & NC 施盤動向」
「工作機械業種別受注額（2022 年 3 月）」
- 24 議事録
「第 127 回調査広報委員会議事録」「第 111 回教育委員会議事録」
「第 297 回定例理事会議事録」

巻頭言

Introduction

今こそ「人材」の確保と育成を

朝晩はまだ冷え込む日もあるものの、めっきり春めいてきた4月半ばにこの原稿を書いております。世の中ではこの2年余りのコロナ禍で世界の様相が激変し、また今年に入ってからヨーロッパで新たな紛争が勃発し、その戦火はまだまだ収まる気配もなく世界経済への懸念が続いております。

この原稿が皆様のお目にとまる時には世界は、そして日本はどのような状況におかれているのでしょうか。以前なら1～2ヶ月前のことくらいまでならばある程度の予想も出来、それなりの方向性を見定めて対策したり動けたように思いますが、今やそれも容易ではないご時世になってしまいました。

そのような中でアフターコロナを見据えた企業の舵取りは甚だ難しく、その難局を乗り切るためにはそれなりの人材確保および育成が最重要と考えますが、日本の強みでもある中小零細が中心となる製造業や我々機械商社の多くが人材難に苦勞されていることと存じます。

1991年のバブル経済崩壊後30年間、多くの企業が「選択と集中」の手法で収益を図り、更には昨今のネット社会を活用することにより、それなりの成果を挙げてきた結果として日本経済は大いに回復・発展したきたように思いますが、反面、「人材」という企業にとって本来ならば最も重要視なくてはならない投資を怠ってきているようにも思えます。コロナやウクライナ問題という急ブレーキが経済を止めてしまうと、その点が今更ながら浮き彫りになってきているのではないのでしょうか。

弊社もまたその典型例で、特に弊社のような中小零細規模の企業にとって事業継承も含めた人材難は死活問題であり最も解決しなければならない急務だと心得ます。

私事ですが、私は昨年6月に還暦となりました。ひと昔前なら定年の年齢です。創業者である先代の父から社長業を引き継いで早25年ほど。父の晩年は病気がちだったこともあって実務を引き継いでからは30年以上になります。その間、ネット社会の発達により世界がものすごく近く

なったために、アメリカの同時多発テロやリーマンショック、またヨーロッパではギリシャ危機やブレグジットなどの他国の大きな出来事が即座に日本経済にも悪影響を及ぼしましたし、国内では東日本大震災などの不幸に起因する経済不況もご記憶に新しいと思います。会社経営におけるそういった逆境をどうにかこうにか乗り越えて今日があるのも、まずはお客様に恵まれたことが第一としても、そのお客様をお支えするべく頑張ってくれたスタッフの努力もあってこそだと思うのです。つまりは「人材」なのです。そのことは今日のコロナ禍でも、そしてアフターコロナの時代においても企業が最も考えねばならないことだと思い、人材確保とその育成に企業努力をしていこうと考えます。

今のご時世、弊社のような零細企業において優秀な人材を確保することが如何に難しいか、また人材育成するスキルを身につけるためには自分たちも研鑽していかななくてはならないことは覚悟していますが、小さな企業は小さな企業なりに努力したいと思っています。その考えに基づき弊社もこの春から新体制を取りました。これからはその新体制のためのスタッフとなる人材を確保・育成し、ひいてはお客様にとっての大いなる「縁の下の力持ち」になることを今年度の目標と考えています。

私の好きな言葉のひとつに戦国時代の雄・武田信玄公が言ったとされる「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり」というものがあります。信頼できる人の集まりは強固な城に匹敵するという意味ですが、その言葉を今の私の座右の銘として、次の世代に引き継いで行こうと思います。

末筆となりますが、世の中が早く安寧の時を迎え、業界だけでなく日本中、ひいては世界中が好景気の恩恵に与ることが出来ますことを心より祈念してご挨拶とさせていただきます。

日工販 理事 加藤 幸博
(カトー機械株式会社 代表取締役社長)

小型旋盤の機内で使える 測定器シリーズ



大昭和精機株式会社
技術本部 次長

土居 正幸

小型旋盤は自動車や医療機器、半導体関連部品、油空圧部品など幅広い精密小物部品加工に使用されています。これらの小物部品には高い加工精度を要求されることも多くあります。当社ではツーリングや切削工具、測定器など切削に関わる商品群を扱っておりますが、ここでは小型旋盤の機内で使える測定器のシリーズをご紹介します。

●小型旋盤用芯出し測定器 センタリングツール CTL-90

旋盤加工において、特に小径ドリルやリーマ加工では、工具ホルダと工作物の回転中心の芯ずれ量が大きいと工具寿命の低下や工具折損、加工精度不良などの問題が発生してしまいます。このような問題を回避するためには、工具ホルダを取り付ける際に、工作物の回転中心に対して芯出し作業を行わなくてはなりません。一般的には主軸にダイヤルゲージを取り付けて工具の芯ずれを確認します。しかし、主軸と一緒にダイヤルゲージも回転するため、鏡を使って裏側の目盛りを確認しなくてはなりません（図1の右側参照）。機内でのこのような作業は危険を伴うこともあり、正確な読み取りにも時間がかかります。

センタリングツールは取付け部がマグネットになっており、簡単に工作物へ取り付けできます（図2参照）。主軸を回転させても、ダイヤルゲージだけは回転せず常に正面向きになるため、安全で簡単に目盛りを読み取ることができます（図1の左側参照）。アルミやステンレスなど非磁性の工作物で使用する場合

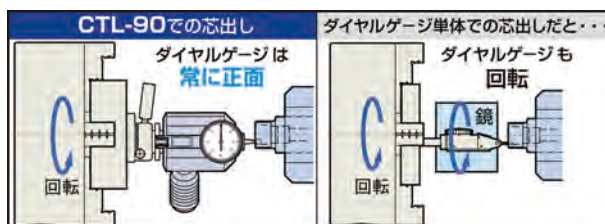


図1 CTL-90 とダイヤルゲージ単体による芯出し作業の比較

は、鋼製で取り付け面が確保できる治具を用意する方法もあります。全長は90mmとコンパクトに設計されていますので小型旋盤でも使いやすいサイズです。効率良く芯だし作業を行うことで、加工精度や工具寿命の向上にお役立てください。

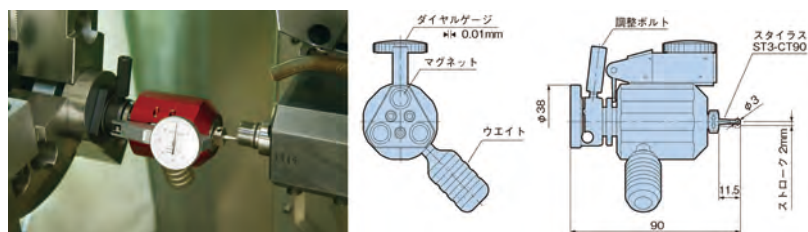


図2 センタリングツール

●旋盤用刃先位置測定器 ベースマスターミニ BMM-20H

スイス型旋盤やくし刃旋盤などの小型旋盤は、機内の限られた空間に多くの工具がレイアウトされています。そのため機内には刃先位置を検出するための測定器が備わっていないことが多く、刃先位置の検出には苦労されています。例えば工作物と切削工具の間に紙を挟んで位置を検出することもよくあります。しかし、誤って切削工具を折損させてしまうこともあるため、特に小径工具では慎重に作業を行わなくてはなりません (図3参照)。

当社では小型旋盤でも使いやすいベースマスター BMM-20H (図4参照)を開発しました。ベースマスターは測定子に切削工具を接触させて、LEDが点灯したところで刃先位置検出できる測定器です。高さは20mmでコンパクトに設計されており、繰り返しの測定精度は $\pm 1\mu\text{m}$ (2σ)で非常に安定しています。 $\varnothing 0.1\text{mm}$ の小径工具でも測定できる低接触圧設計で、測定子のストローク量は2mmありますので安心して作業できます。取付け面はマグネットになっており、鉄系の工作物であれば簡単に取り付けできます。



図3 従来とベースマスターを使った測定方法の比較



図4 ベースマスターミニ BMM-20H

近年は作業効率や機械稼働時間向上のために機内段取りの短縮が進められています。また、熟練の作業者でなくても使えるような取り組みも増えてきています。測定器を使うことで小型旋盤における作業時間の短縮にお役立ていただければ幸いです。



私の 読書評

「美しき愚かものタブロー」

著者：原田 マハ

(出版：文藝春秋)

この小説は史実に基づくフィクションで、1896年（明治29年）に神戸の川崎造船所（現在の川崎重工）の初代社長に就任した松方幸次郎氏が、在任中に出張先のロンドンやパリで 絵画（仏語でタブロー）を中心とする西洋美術品蒐集（後に「松方コレクション」と呼ばれる）をなぜ始めることになったのか、そのコレクションが第二次世界大戦中にフランスでどうやって戦禍を逃れ、戦後どのような経緯で日本に渡って現在上野の国立西洋美術館に展示・保管されているのかを主題としています。

その時代、欧州に渡航できる日本人は至極限られていたので、西洋美術に関心があり、また学びたいと渴望している日本の若者たちに本物を見せてあげたい、そのために日本で本格的な西洋美術館を造ろうという目的で、松方氏は私財を投じて美術品蒐集を始めました。それを実現できる潤沢な資金の持ち主であったものの、美術への関心や知識は全くなかった商売人の松方氏がその熱意に到達するまでの過程には、多くの人との出会いと繋がり、不意に興味を持ったある画家の作品、それに対して起こした行動など何気ない偶然の積み重ねがありました。結果として必然的な形で美術品コレクターへと導かれていく様は、もはや運命という言葉以外見当たりません。「日本が欧米諸国と肩を並べて付き合っていくためには、軍事力・経済力だけではなく、芸術・文化の力も必要だ」と語り、目的の実現に尽力した日本人が明治中～後期に実在したということに、いまそれを当たり前のように享受できる現代の私たちは感謝すべきでしょう。

一方で松方氏のような行動やコレクションに起こったことは、第一次世界大戦から第二次世界大戦へと続く混迷した世情、戦争の惨禍および敗戦国としての日本の戦後処理と切り離すことができません。松方氏の財力の基が艦船の製造販売（＝戦争）にあり、その商売で得た資金で西洋絵画を買い集める（＝平和）という、相反する行動が1人の人間の中で行われているという複雑さも垣間見ることとなります。どちらの行動にも正論があり、その時代を生きたことの難しさを感じずにはおれません。

奇しくも、この小説の読了まもなくして、ロシアによるウクライナ侵攻が始まりました。連日の関連報道には本当に胸が痛みます。世界大戦などもはや過去の1ページ、文献や映像の中でのみ触れる出来事と高を括っていたものが、突然目の前に突き付けられる日がやってきてしまうとは。今年最初の読書にこの作品を選んだことを、偶然ではない、何か意味のあることのように感じてしまいます。

- －芸術・文化は無くても生きていけるが、それがあれば暮らしや人生は豊かになる。
- －軍艦・飛行機（戦闘機）ではなく、芸術を。戦争ではなく、平和を。

作者が登場人物を通してこの本の中で繰り返し訴え、祈り続けていたこと。私もそれを切に祈りたいと思います。

最後にもう1つ、松方氏の印象に残った台詞。

「私は美術のことはさっぱりわからないが、すばらしい美術品を見ることが、ものづくりに携わる人々にとって、最善の教育になるということはわかるのです。」

原田マハさんの小説を読んだ後は少し絵画への触れ方がわかったような気になって、無性に美術館へ足を運びたくなりますよ。ぜひ一度お試しください。



三井物産マシンテック
株式会社
業務本部 海外業務部
部長

厚地 慶子

リレー随筆



三菱商事テクノス株式会社
名古屋支社
産業メカトロニクス第二部
鈴木 壮



皆様、初めまして。三菱商事テクノス株式会社名古屋支社 産業メカトロニクス第二部に所属しております鈴木 壮（もり）と申します。この度、株式会社日研工作所 竹岡様より伝統ある「リレー随筆」のバトンを回していただきました。この4月で入社5年目を迎えたばかりの若輩者ではございますが、私が普段の営業活動で意識している“成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないこと”というモットーのもと、僣越ながら寄稿させていただきます。

突然ですが、【百副本】という言葉はご存知でしょうか。私自身もつい最近まで知らなかった言葉ですが、百副本とは、読んで字の如く本に係る言葉で、最後のページに記されている刷数（初版から増刷された回数）が百回を超えるロングセラー本のことを指します。

今、コロナ禍で自宅にいる時間が増え“本”が売れているそうですが、先日、あるテレビ番組内で今年直木賞を受賞された小説家の今村先生が厳選する「令和に読みたい百副本ランキング」という特集がありました。たまたま目に入り見ていると、取り上げられた本への興味だけでなく営業として学ぶことがありましたので、同ランキングより1冊抜粋しこの場をお借りして紹介させていただきます。

早速ですが、今回紹介する本は、2022年3月現在、初版から271刷、戦後最も発行されたビジネス書と言われる松下幸之助著「道をひらく」（1968年発行）です。既にご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、この本は、著者自身の人生で遭遇した様々な困難をどう乗り越えてきたのか、どうすれば身も心も豊かな生活が送れるのか、その思いを綴った121の話で構成されており「名言」が

多数記されています。

中でも、「憂事に直面しても、これを恐れてはならない。“心配またよし”心配や憂いは新しくものを考え出す一つの転機ではないか」、「失敗することを恐れるよりも“くふう”のないことを恐れた方がいい」という言葉が特に印象に残っています。

営業職5年目を迎え、徐々にやりがいを感じるとともに難しい局面に立つことも増えてきました。心配事も毎日ように発生しますが、そんな状況を前向きに捉え、考え抜くことで成長に繋がることを本書より学びました。

また、私自身も経験がありますが、競合ひしめく工作機械業界では、時に確実性を求め、受け身の営業に回ってしまうこともあるのではないのでしょうか。結果として、その場では上手くいったとしても、それ以上に発展しないケースが多いのではないかと思います。モノを製造していない商社の営業として生き残る為にも、失敗を恐れず、くふうを凝らし、万事に取り組むという先人の教えを大切にしていきたいと思います。

以上、拙い内容ではありますが、皆様（特に私と同年代・下の世代）が営業活動をされる上で困難に直面した際の一助となれば、今回リレー随筆に挑戦した甲斐があったと嬉しく思います。

いつの日か、私の文章を読んで下さった方と一緒にお仕事ができることを楽しみに、日々精進してまいります。

▶次号はメルダスシステムエンジニアリング株式会社 加工機システム部 中野正彦 様をお願いいたします。大切な繋がりの方であり、“THE 工作機械の営業マン”です。



私の 健康法



住友電気工業株式会社
ハードメタル事業部
グローバルエンジニアリング部
工作機械ソーリンググループ
主席
高山 保 司

私の健康法と言われ、いざ健康に気を付けているかと考えると殆ど気にせずと言ったところが本音のところですが、気にしなくてはいけない年齢とは自覚しています。

入社後は、弊社の伊丹製作所で設計業務を担当しており、そのころは、学生時代から行っていたバスケットボールを継続、アトは職場仲間の集まりである野球チームで草野球をする等、30才頃迄は毎週ではないですが休日には体を動かすことをしており、スリムとまでは言えないですが腹囲はまだスッキリした体型でした。30才過ぎてからは、運動らしき運動もすることもなく、30年後の現在はそこから比較すると体重は約15kg 増え、一回り成長した体型になってしまいました。

現在は東京本社勤務で、機械メーカー様をメインに切削工具の営業技術担当として業務を行っています。約2年前、新型コロナウイルス感染が確認され在宅勤務が増えたことで、自宅から出歩くことも減り、このままでは良くないと思い、運動不足解消を目的に休日のウォーキングを始めました。丁度、単身赴任寮の閉鎖に伴い江東区のワンルームマンションに引っ越しをしたところで、土地勘もないこともあって、地域を知るよい機会でもあるかなとの思いもありました。コロナ感染者が増え始めた頃でもあったことで、人混みを避けることも考慮し、住居近くから小名木川沿いより整備された隅田川テラスに出て、北方面は浅草（約13km）、南方面は月島（約12km）、チョット短い距離だと横十間川沿いを往復（約7km）のいずれかを1～2回/月のペースで始めました。

始めたころは初夏の頃なので、ウォーキングしていても心地よい気持ちでリフレッシュできるものでした。又、感染が減少した時期には、都内の地域（銀座、上野等）へ行った際の帰路はウォーキングで帰ることをこころがけていました。

更に、ヨガマット、フィットネス・チューブを購入し、チョット時間があるときに腹筋/ストレッチをする等体を動かすことも行っていました。最初はまじめにやっていましたが、夏場は汗をかく量も増え、ウォーキングから帰宅後にシャワーを浴び、一息ついたところで喉の渴きを潤すのにスポーツドリンクではなく、誘惑に負けてビールを飲むこともしばしば増え、冬場の寒い時期は外へ出るのが苦になって、ウォーキング回数、部屋で出来る腹筋/ストレッチも減少、暖かくなってきた5月頃より再開すると言ったサイクルでここ2年体を動かしています。体型としては現状維持していますが、今年は、体重を5kg 程度/年減量できるよう目標をもってウォーキング、腹筋/ストレッチを行い、適度なアルコール摂取はしつつ健康維持に努め、業務に取り組んでいきたいと思っています。

感動した

スポーツの

名場面



「ラグビーに奇跡はない。」



宮脇機械プラント株式会社
システム営業部

中村 龍二

ラグビーワールドカップ2015での南アフリカ戦後、日本代表の五郎丸選手がそうコメントしました。それまでの日本ラグビー界はW杯の過去20年間で僅か1勝しかしておりませんでした。

ラグビーは最も番狂わせが起きにくいスポーツと言われています。大きく速い選手が強く、体格に劣る日本人には不向きと見られていました。日本代表への期待が薄れている中、ラグビーワールドカップ2015の初戦、日本の対戦相手はW杯で過去2回の優勝をしている南アフリカでした。善戦できれば御の字、と誰もが思っていました。（事実試合前のオッズでは南アフリカの1倍元返しであった。）しかし予想に反して先制したのは日本であり、その後も取られたら取り返すという息をも吐かせぬシーソーゲームへと突入していきます。フィジカルで拮抗し、時にはパワープレイで相手を押し込む。日本人だけでなく世界中の人たちが「ジャパン」と声を上げているのが印象的でした。

そして試合終了間際、日本は3点差を追う展開で最後のチャンスが訪れます。敵陣ゴール前の位置でペナルティを得て、ペナルティキックでの3点で同点とするか。トライ5点での逆転を狙うか。日本の選択はトライを奪うことでした。1度でもボールを落とせば試合が終わる状況で日本代表はまさしく全員でボールを繋ぎ最後にトライを決めて逆転勝利を収め、「スポーツ史に残る歴史的大金星」と評されました。

「ラグビーに奇跡はない。」奇跡をただ祈るのではなく努力の末掴み取ることが大切なのだと学んだこの1戦と高校時代のラグビー部での経験を日々の営業活動に活かしています。





SDGs への取り組み



シチズンマシナリー株式会社
営業本部

山崎 英徳

全世界的に叫ばれている SDGs：『持続可能な開発目標』に関して工作機械各メーカーでも各社主要目標に設定して取り組んでおります。

〈〈 SDGs の取組み図 〉〉



工作機械製品における主な取り組みは以下2点が主となっております。

(1) 脱炭素社会に向けて

消費電力の削減、待機電力の削減等に取り組む
二酸化炭素排出量削減

(2) 環境保全に向けて

環境負荷物質含有の禁止・管理によるグリーン調達推進への取り組み
法令適応に対しては RoHS 指令（欧州、中国）適合の確認を実施

当社【シチズンマシナリー】で新たに取り組んでいる自動盤（棒材加工機）ならではの SDGs に係る取り組み『残材削減機能』についてここで紹介致します。

〈〈 残材削減機能について 〉〉

近年、世界的な需要の拡大や社会情勢から材料費の高騰が続いており、ものづくり企業においては材料費の削減が重要な課題となっています。しかしながら既に企業では様々な手段を講じて材料の削減を進めています。材料費は想定外まで高騰し限界を迎えています。

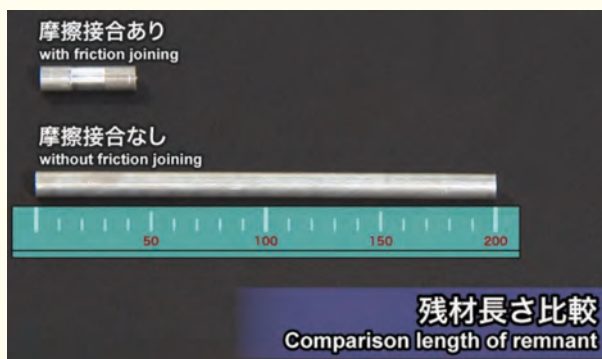
特に細くて長い部品の加工を得意としているスイス形自動旋盤においては、その構造的な制約から「残材」と呼ばれる加工できずに残ってしまう部分が材料の1～2割程度生じます。身近なところだと文具のメカニカルペンシルと構造が似ており、こちらと同じく「残芯」が生じますのでイメージしやすいのではないのでしょうか。

この課題はスイス形自動旋盤の歴史の中で長年解決できずにいたものですが、新たに摩擦接合技術*を活用することで残材の大幅な削減を実現しました。

残材と次に供給される新材を摩擦接合で接合し残材を新材同様に加工することを可能にしており、この残材削減機能によって従来の200mm～300mmほどの残材を5分の1程度にまで短縮することができます。生産に使用する材料を減らすことで環境負荷低減に貢献できるほかコスト削減の効果も期待できます。また、残材削減による2次的効果として材料の物流コスト低減、機械への材料補充の負荷低減が挙げられます。さらに代表的な特徴としては専用機ではなく自動旋盤としての本来の加工能力を維持しつつ残材削減を実現しているところにあります。



残材と新材を摩擦接合で接合する



残材長さ比較

将来的には摩擦接合技術を残材削減に用いるだけでなく、自動旋盤による接合ワークの製造そのものにも適用していきたいと考えています。具体的には切削加工技術とこの摩擦接合技術を融合・複合化させることにより「異種金属が接合された部品」や「切削だけではできない形状の部品」などの接合部品を、自動旋盤1台で製造完結することも可能になるのではないのでしょうか。これらは脱炭素の実現に寄与できる取組みですので今後も開発を継続し社会貢献に繋がりたいですね。

*摩擦接合技術とは摩擦熱により材料を軟化させ、そこに強い圧力を加えることで材料同士を接合する技術であり材料の融点以下で接合が行われることから固相接合法に分類されます。他の接合方法と比べて接合強度および繰返し精度が高いなどの特長があります。

私の好きなお店



首都圏リース株式会社
機械設備営業部 主任
宮川 拓 実

私の大好きなお店は、東京都台東区にあります「コワッパーズ」さんです。

先日、30歳を迎えた私ですが、まだまだ食べ盛りでありまして、美味しく、ボリュームがあり、コストパフォーマンスが高いこちらのお店に度々訪れています。

初めて訪れたのは、大学生のとき。知人の家の近くで親族が経営していることもあり、飲み会をしたことがきっかけで通うようになりました。

品数も多く全ての料理が美味しいですが、特におすすめなのはしょうが焼き定食です。

しょうが焼き定食というとあまり外れることが無い料理ではありますが、ここのしょうが焼き定食はマスターの味付けが絶妙で、病みつきになっています。

また、セットのお味噌汁も絶品で、個人的にはどこのお店のお味噌汁よりも美味しいと思うほどです（レシピは企業秘密だそうです笑）。

コロナ禍ではありますが、消毒や徹底したソーシャルディスタンス等、感染対策にも気を使っており、東京都の飲食店等感染防止徹底点検済の目印である「虹のステッカー」も掲げております。

写真は一例ですが、ランチメニューは、日替わりランチを始め各メニュー税込650円～1,200円とリーズナブル。

夜は18：00～22：00まで営業しており、お酒に合うおつまみもたくさんあります。

お近くに来られる際には、是非行ってみてください。

cafe & kitchen
COWAPPERS (コワッパーズ)

住所：
東京都台東区今戸1丁目18-18
TEL: 03-3872-2005



虹のステッカー



おろしポン酢ハンバーグ定食
(税込800円)



しょうが焼き定食 (税込750円)



会社生活に 於ける 私の初〇〇



株式会社U-MACHINE
東京営業部
マネージャー

印出井 崇 誠

初めての海外出張

初めまして、株式会社U-MACHINEの印出井（いんでい）と申します。

社会人歴は17年目、中古機械の売買業務を担当する事になり12年目になります。

今回は私が日工販ニュースへの寄稿を担当させて頂き、「私の初めての海外出張」についてお話しさせて頂きます。

6年程前に日系企業の中国（天津）で設備買い取りのお手伝いさせて頂く事となり、初めて海外出張しました。それまで旅行でグアムと韓国にしか行ったことが無かった私にとって、初めての中国、初めての海外出張業務でした。査定から搬出作業まで計3回、延べ3週間ほどの海外業務となりました。

パートナー会社の方と中国の天津空港で待ち合せて、到着したら連絡を取り合い合流する流れでしたが、到着後いくら電話を掛けても繋がらず非常に焦りました。後ほど日本の事務所へ電話をかけたがりして無事に合流することができたのですが、合流後にパートナー会社の方へ理由を尋ねたところ空港でiPhoneを盗まれたとのこと（しかも電話している最中に強奪されたようです）で非常に驚きました。

天津市は人口約1,500万人、中国でも有数の港湾都市で、高層ビルも多く車の交通量も非常に多かったです。多いと思った交通量でしたが、それでもスモッグ対策としてナンバープレートにより走れる車輻に制限をするという交通量規制をしていると聞きました。

食事はパートナー会社やそのローカルスタッフの方々と共にしていましたが、非常に美味しく食事には困りませんでした。

ただ、飲み物に関しては、中国では冷えた飲み物を飲む習慣がないため、ビールを注文する際に「冷たいものを」と言わないとたいてい常温で提供されてきました。冷たいビールを用意している店もありましたが、そうではない店では氷を入れて飲んでいました。余談ですが、とある店の入店時の待合室に置いてあったウェルカムドリンクのオレンジジュースはホットでした。キンキンに冷えたビールが一番美味しいと考えていたので生活習慣の違いも面白かったです。

天津市は北京から東南に120kmほど離れていますが、高速鉄道があるため30分程で移動ができます。

搬出作業がない休日に高速鉄道で北京へ行き、ユネスコ世界遺産でもある「故宮」を観光しました。敷地面積が72ha（東京ドーム約15個分）もありスケールの大きさに驚きました。歩き疲れて夕方にはぐったりしていましたが、良い経験になりました。

お客様の工場での業務も海外ならではの問題（保護具未着用での作業、安全対策の不備等）もありましたが、お客様やパートナー会社の方々に助けて頂き無事に終了する事ができました。

日系メーカーも様々な国に製造拠点がありますが、近年、人件費高騰や生産コスト増の影響で生産拠点の見直しに関わるご相談も増えてきているように思います。

勿論、順調に生産稼働できている事が望ましいですが、その様なケースが起きた際にもご対応ができるように工作機械販売業界の裏方としての対応力を磨いていきたいと思った良い経験となりました。



海外 だより

「きめ細やかなサポートを」

FANUC Europe GmbH / Assistant to Executive Vice
President & Japanese MTB Sales
(ファナック株式会社/FA事業本部 FA国内セールス本部)



宝 利 光 一

From Germany

私は2021年1月よりFANUC Europe GmbHの駐在員として、ドイツ連邦共和国の南部都市、シュトゥットガルト郊外のオフィスにて、欧州内における日系工作機械メーカー様の販売活動のサポート及びトラブルサポート業務を行っています。

シュトゥットガルトはメルセデスベンツやポルシェ、ボッシュが本社を置くドイツ有数の産業都市として知られていますが、地元サッカークラブのVfBシュトゥットガルトでは日本人選手も活躍中ですので、サッカー関連の話題からその都市名を知る方が多いのではないのでしょうか。気候は年間を通して過ごし易いのですが、夏が短く冬は長いので、短い夏をせいっぱい満喫しようと長期休暇を取得する文化があります。また、日本人居住者は多いとは言えないものの、その分、上司や同僚はもちろん、お客様との距離感が非常に近く、公私に渡って深くお付き合いをさせて頂くことが出来る、素晴らしい環境にあります。

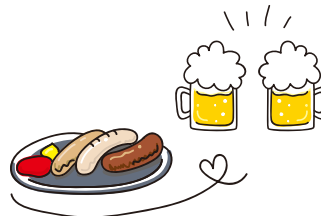
さて、そんなシュトゥットガルトで初の海外駐在を妻子と共に始め、既に一年以上が過ぎましたが、未だに現地生活の中で驚きや困難、日本との違いを発見することが数多くあります。

そこで、本寄稿ではその中のいくつかを紹介したいと思います。

まず初めに驚いたことは、日/祝日にはスーパーマーケットや各種小売店が閉まってしまうということです。閉店法なるものが存在し、ドイツ各州で規制は多少異なるものの、基本的に日/祝日は買い物できません。慣れてしまえば大きな問題にはならないのですが、急遽、生活必需品の不足が発覚した際などは、やはり日本の生活の便利さを改めて感じてしまいます。

次に、最も困っていることとして、トイレを利用可能な場所が少ない、という問題があります。そもそも公共トイレの数が非常に少なく、また日本のようにコンビニエンスストアがありませんので、買い物のついで、に借りることも出来ません。そのため、お客様への訪問時や家族との旅行時には必ず“お手洗い”をスケジュールした上で出発していますが、なかなか思い通りにはいかず“一刻を争う”場面に遭遇することも少なくありません。(笑)



ポルシェ
ミュージアム観光名所の
シュロスプラッツ
(宮殿広場)

また、これは私の身の回りだけの話なのかもしれませんが、エレベータの故障が非常に多く、さらに修理が遅い！と感じています。私の住むアパートもそうですが、“お手洗いスポット”であるデパートのそれも頻繁に故障しており、“一刻を争う”状況でチャイルドカーを抱えて階段を昇降する場面を何度も経験してきました。このようなドイツの状況は日本人、そして、当社の高信頼性の商品や保守体制を知る私から見ると信じられないような状況ですが、逆に考えると、当社の大きなアピールポイントになる、と確信する機会にもなりました。引き続き、ユーザ様、工作機械メーカー様に自信を持って紹介していきたいと考える次第です。

さて、以上のように、日本との相違点はありますが、日/祝日には家族と散歩をしたり、自宅でゆっくりと過ごす時間を多く持つことができ、またエレベータが故障している際には、必ず誰かが手を貸してくれるドイツという国が私は大好きです。(トイレ問題については触れないでおきましょう(笑))

新型コロナウイルスの蔓延や、ロシアのウクライナ侵攻など一時的に見通しが困難な状況は続いていますが、改めて素晴らしい環境に恵まれていることを本寄稿という機会によって改めて感じる事が出来ました。引き続き第一線で走り続ける日系工作機械メーカー様へ寄り添い、きめ細やかなサポートを実施して参ることをここに宣言させて頂き、また、最後となりましたが、このような貴重な機会を与えて頂いた日工販様へ御礼を申し上げ、本寄稿を終えたいと思います。

“

工作機械と私

”



誠和エンジニアリング株式会社
営業部 営業二課 課長

戸 蒔 秀 一

誠和エンジニアリング株式会社 営業部 営業二課の戸時でございます。

「工作機械と私」という題目から、今まで経験してきた事をお話したいと思います。

大学生時代、(スポット溶接機・卓上ボール盤・蹴飛ばしプレス)などの機械を使い加工するアルバイトの経験はありましたが、卒業後、社会人として自分自身全く経験のない業種に一旦は就職し、その後となる16年前に誠和グループに転職し工作機械の販売営業に就きました。

振り返ると、大学生時代に機械に触れる事はあったものの、入社し工作機械の営業活動をするにあたりアルバイトなど全く役には立たず、社内の新入社員研修もほとんど無い状態で右も左も解らず、期待よりも不安の方が大きかったように思います。

あの頃は、上司も先輩も自分自身の仕事をこなすだけで精一杯、新人を教育するなどの部署もなく時間もありません。

それから暫らく経ち入社から半年が過ぎた頃、あるお客様から「6吋チャックの2軸 NC 旋盤を2台検討しているので見積書を下さい。」と話しを頂く事が出来たものの、ただお客様から言われたままを上司に報告するだけでした。

お客様は、経験も豊富で設備の事も熟知している為、入社半年の新入社員では太刀打ちできません。

そこで上司・先輩・メーカー様の助けを受けながら打合せに臨み、何とか受注に辿り着く事が出来ました。ただやはり、上司と同行しお客様と契約書を交わす時も、上司の横でただ置物のように座っている情けない自分がいました。

先輩から度々「機械は売らないと勉強にならない。売って初めて勉強になる。カタログを眺めているだけでは売れないぞ」と言われていたのですが、まさにその通りだと実感しました。失敗し、お客様に叱られて学習する。当時は、引き継ぐお客様もあまり無く、黙々と新規開拓をする日々でした。地道にコツコツ訪問し顔を覚えてもらい、少しずつお客様との距離を縮め経験を積んでいくしかありませんでした。

工作機械全体を見渡し、16年前と今を比較した場合画期的に進化した機械があります。

それは、レーザー加工機です。CO₂レーザー加工機が主流だった16年前が、いまやファイバーレーザーにとって変わり、メーカーによっては、CO₂レーザー加工機をこれからは生産しないメーカーも出てきている程です。何が画期的かと言うと、皆様もご存知の通りレーザーガスが一切不要な事です。経営者の方は、常々経費の事を考えておられます。コストリスクです。ランニングコストが0である事は、16年前には想像もつきません。これからはCO₂レーザーは生産せず、ファイバーレーザーになるでしょう。

最後に、私自身心がけている事があります。

“継続は力なり”、“商いは飽きない”とも言えるぐらい今の仕事を好きになり、粘り強く機械の良さをお客様にアピールする。壁にぶち当たっても、克服出来ない壁はありません。お客様が、何を考え何を望んでいるかを意識し、望んでいる事にどのように携わっていかけるかを日々考え、営業活動に生かす。設備投資は、資金・場所・人・仕事どれが欠けても実行できません。

リーマンショック、東日本大震災、コロナウイルス、戦争と外的要因で設備を延期・凍結、見直しせざるを得ないような厳しい局面にぶち当たる事もあると思いますが、どのような時代でも、機械を売るのが仕事と考えております。

日工販SE合格者 第237回発表

2022年3月・4月・5月の合格者は5名です。

2022年3月

認定No.	会社名	合格者名
22-31-3798	(株)兼松 KGK	安藤 和哉
22-31-3799	三菱 HC キャピタル (株)	東海林 颯

2022年4月

認定No.	会社名	合格者名
22-31-3800	(株)モリタ	佐々木 貴悠
22-31-3801	JA三井リースアセット (株)	市川 哲也

2022年5月

認定No.	会社名	合格者名
22-31-3802	三栄商事 (株)	池田 大雅





事務局だより



立夏も過ぎ、暦の上では既に夏。

たまに蒸し暑い日があると、勝手に気分的な夏を感じていますが、本格的な夏を前に必ず通過せねばならない期間・・・日本人なら皆経験する、そう梅雨ですね。

降り方にもよるのですが、一般的には農家なら恵みになり、サラリーマンなら鬱陶しいと感じるであろうこの梅雨時期も、日本の四季には欠かせない1か月となります。

そして、新型コロナウイルス感染。今やパンデミックですが、ある国では感染者数が爆発的な増加を見せている一方で、感染対策は世界的に緩和方向へと向かっているようです。

ウイルスが梅雨の水に閉じ込められ、永遠に消滅して欲しいと願うのは、おそらく私ばかりではないと思いますが、いったいいつまでこの波は続くのでしょうか。

さて、以下お知らせです。

4月末までに日工販 NEWS に関するアンケート調査を実施いたしました。

数多くのご回答にご協力いただきましたことを、当誌面をお借りしてまずは厚く御礼申し上げます。

アンケート結果のうち、定量情報につきましては7月号に統計データとして掲載予定としております。また定性情報につきましては、(前述統計データと併せて)日工販の調査広報委員会にて内容を協議の上、別途日工販 NEWS の改善活動に繋げていきたいと考えています。

今回「アンケート」という形式で皆様のご意見を、いわば一方的に聞かせていただく機会をつくりました。

そもそも日工販の事業活動は会員の皆様のご意思そのものですから、むしろ「発信したい情報がある」とか「教えて欲しいものがある」といった相互コミュニケーションの場としてもご活用いただきたいと思っています。ご要望やご意見などございましたら、いつでもご遠慮なく以下アドレスにどしどしお寄せいただきますようお願いいたします。

jmta@nikkohan.or.jp

日工販ニュース表紙写真の公募について

日工販事務局からのお知らせです。

日工販ニュースを楽しく、また手に取っていただきやすい機関誌にしたいという思いから、表紙にその季節折々の写真を掲載することとしています。

そこで、以下要領により読者の皆様から表紙写真を公募しますので奮ってご応募ください。

募集要領

1. 対象写真

年5回の発刊月（5月、7月、11月、1月、2月）に合わせた写真（1枚以上）

※複数枚ご送付いただいた場合は、選定は事務局にて実施します。

※被写体は「風景」にこだわられません。季節を感じさせるものであれば何でも可。

2. 送付手段

以下要領により、電子データにてご送付をお願いします。

①日工販事務局宛てメールに添付： jmta@nikkohan.or.jp

メール件名： 「《日工販ニュース》表紙写真（応募）」

②大容量ファイル配信ツール（「FireStorage」など）等の利用で送付

③USB や CD 等による送付（媒体返却を希望する場合は「返却要」のメモを同封してください）

※上記いずれの場合も、以下事項を必ず添えてください。

- ・「撮影された方の会社名・所属部署・役職・氏名」
- ・「掲載希望発刊月」
- ・「撮影した場所や対象（風景の場合）、あるいは写真のタイトル」



3. 採否の連絡

採用された写真をご送付いただいた方には、当該写真が掲載された「日工販ニュース」および御礼としてQUOカードを送付させていただきます。

採用の連絡は発送を以て代えさせていただきますが、後々の掲載に備えてご送付いただいた写真は事務局でストックしていくため、適用月に掲載されない場合でも不採用の連絡はいたしませんので予めご了承ください。



統計資料

工作機械・FA流通動態調査1

統計1

単位) 百万円

37社合計		受注					売上				
調査月次		2022/03	前月比	前年比	2021/04 ~2022/03	前年度比	2022/03	前月比	前年比	2021/04 ~2022/03	前年度比
広義の 工作機械	工作機械	32,415	15.1%	39.8%	310,189	51.8%	40,327	76.7%	27.8%	256,307	9.3%
	ロボット・自動化機器	3,165	38.9%	-18.8%	25,176	-9.9%	2,202	2.5%	-47.8%	26,571	-8.1%
	CAD/CAP・自動プログラム	249	-4.9%	10.7%	3,589	43.6%	502	96.3%	34.7%	3,190	23.8%
	鍛圧・プレス・溶接	1,218	54.0%	-34.8%	14,097	14.1%	1,739	204.8%	-52.7%	10,004	-23.4%
	ダクト・押出、射出	1,254	2.6%	-32.2%	15,892	35.1%	1,688	23.9%	42.7%	12,963	18.3%
	小計	38,302	17.1%	23.5%	368,943	42.5%	46,458	71.0%	13.3%	309,036	6.6%
工作機械以外の扱い商品		35,049	45.6%	45.7%	467,665	115.1%	43,359	79.9%	30.1%	312,458	43.5%
合計		73,351	29.2%	33.2%	836,608	75.7%	89,817	75.2%	20.9%	621,494	22.4%
従業員数		1,564	1.1%	-0.4%							

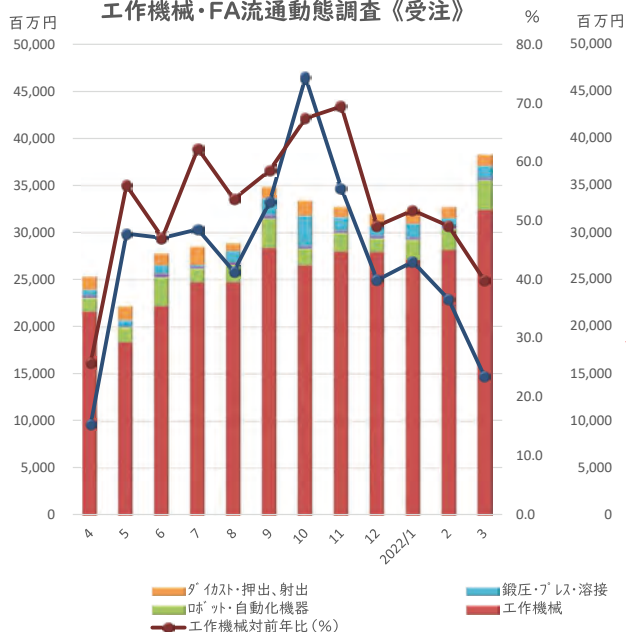
統計2

単位) 百万円

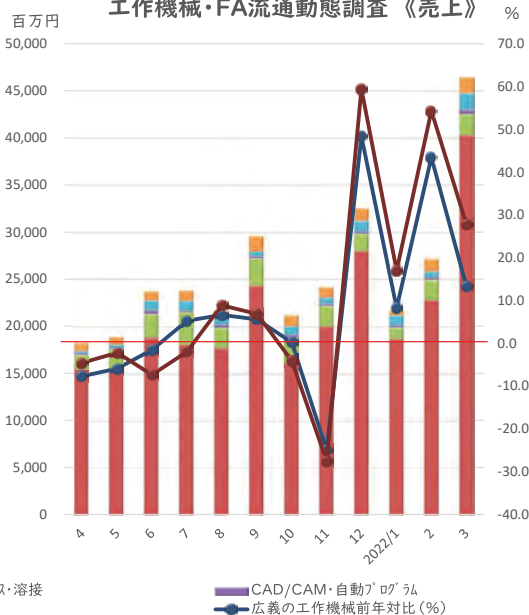
28社合計		受注					売上				
調査月次		2022/03	前月比	前年比	2021/04 ~2022/03	前年度比	2022/03	前月比	前年比	2021/04 ~2022/03	前年度比
内訳	直販	31,180	46.1%	33.6%	309,417	71.0%	35,893	88.7%	12.5%	233,057	10.6%
	(内リース)	817	22.5%	-24.2%	8,984	44.4%	1,166	99.9%	8.3%	8,817	-28.6%
	卸	12,908	26.6%	89.9%	121,801	88.3%	16,023	58.4%	56.4%	93,274	35.7%
	輸入	3,725	57.5%	139.6%	53,900	132.2%	3,419	256.7%	-2.9%	27,194	12.1%
	輸出	14,286	1.2%	48.0%	246,017	128.9%	20,776	57.2%	45.0%	159,977	72.8%
	(内間接輸出)	1,938	-2.7%	107.0%	45,989	341.2%	6,283	286.4%	321.9%	25,502	109.5%
従業員数		1,081	0.5%	0.7%							

注：会員80社中、統計1に関しては37社、統計2に関しては28社の回答を得て集計したものである。
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比であり、データ提供会社総数は40社である。

工作機械・FA流通動態調査《受注》



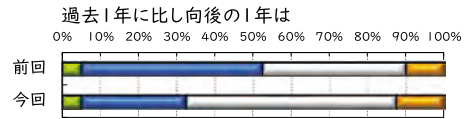
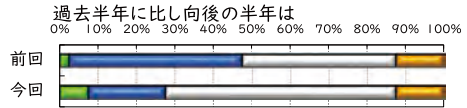
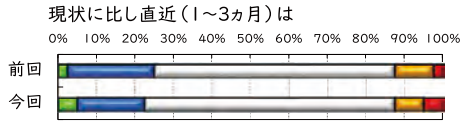
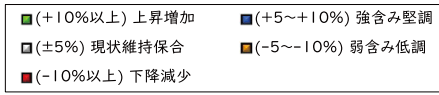
工作機械・FA流通動態調査《売上》



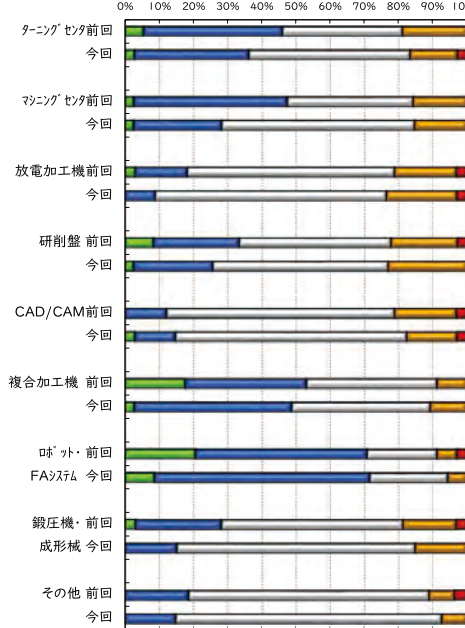
工作機械・FA流通動態調査2

今回2022年4月調査／前回2022年1月調査対比

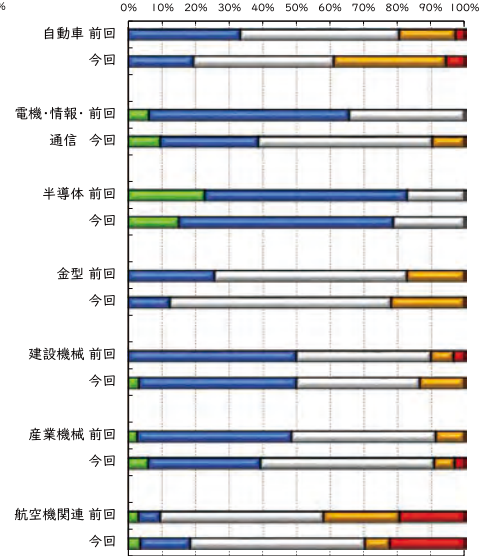
1. 工作機械全体見通し



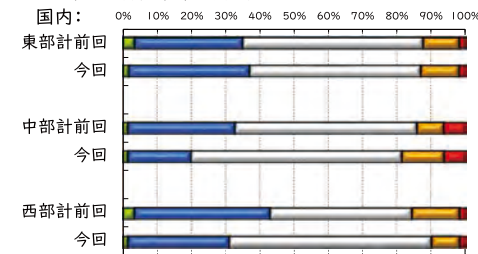
2. 製品別向後約半年の見通し



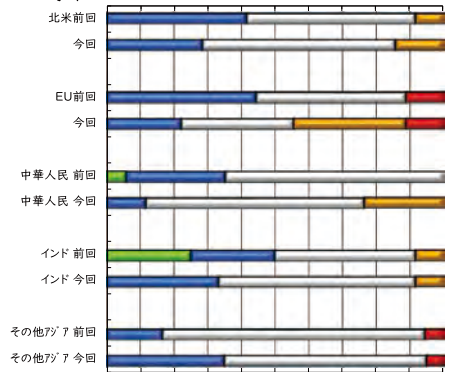
3. 市場別向後約半年の見通し



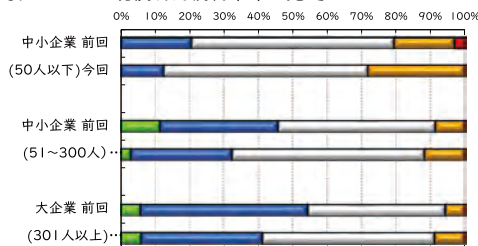
4. 地域別向後約半年の見通し



海外:



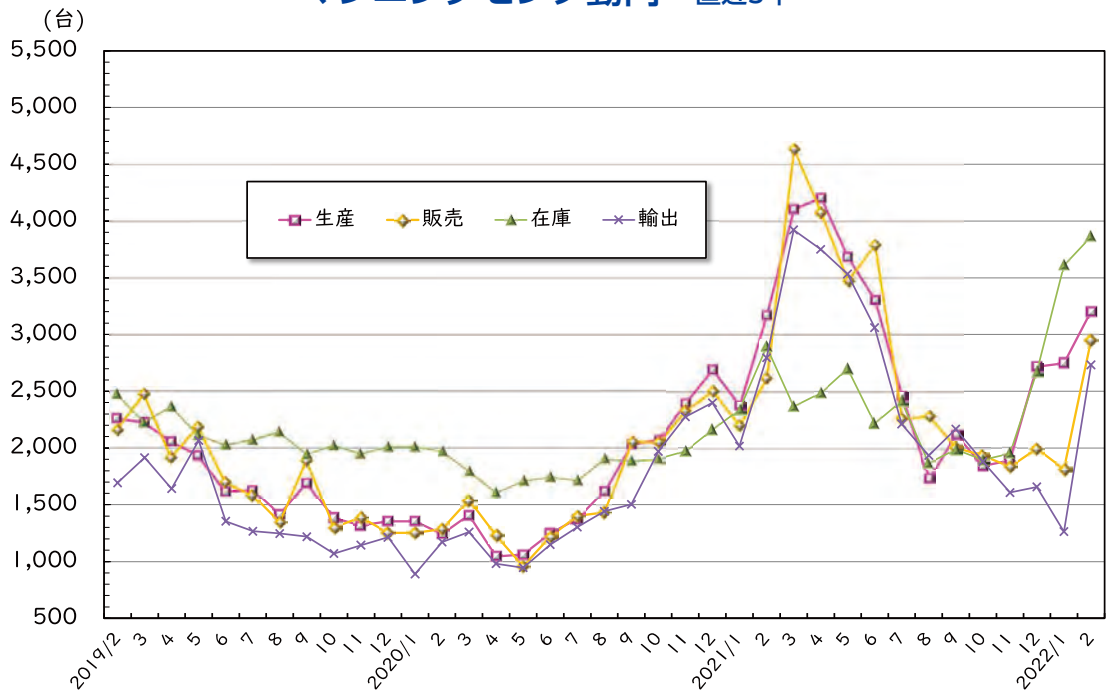
5. ユーザー規模別向後約半年の見通し



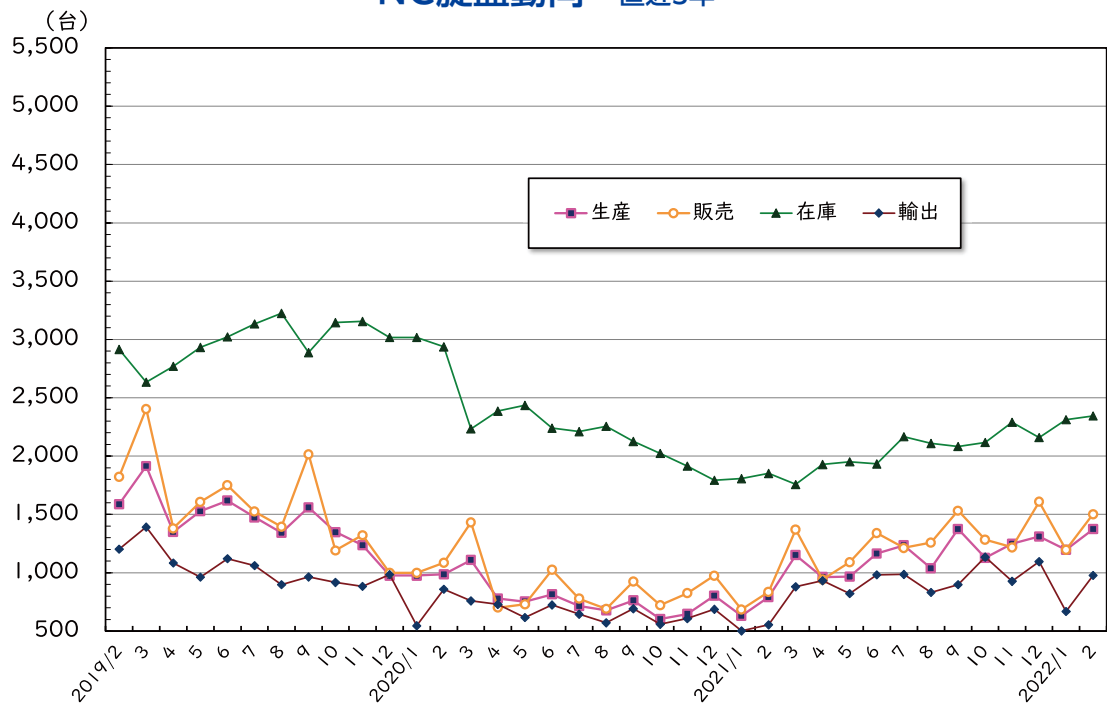
注: 調査データは日工販ホームページをご覧ください。

見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

マシニングセンタ動向 ~直近3年~



NC旋盤動向 ~直近3年~



出所：経済産業省「生産動態集計」、財務省「貿易統計」

工作機械業種別受注額(2022年3月)

2022年4月21日発表

(単位：百万円・%)

需要業種	期間	2022年1月～3月										2021年10月～12月										
		2022年 1月～3月 累計	前 年 同 期 比	前 期 比	2022年 1月～3月 累計	前 年 同 期 比	前 期 比	2022年 1月～3月 累計	前 年 同 期 比	前 期 比	2021年 10月～12月 累計	前 年 同 期 比	前 期 比	2021年 10月～12月 累計	前 年 同 期 比	前 期 比	2021年 10月～12月 累計	前 年 同 期 比	前 期 比			
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	5,043	129.1	127.5	5,043	129.1	127.5	5,043	129.1	127.5	3,955	159.6	159.6	3,955	159.6	159.6	3,955	159.6	159.6	17,981	17.981	17.981
	2. 金属製品	12,157	175.0	110.0	12,157	175.0	110.0	12,157	175.0	110.0	11,050	171.4	171.4	11,050	171.4	171.4	11,050	171.4	171.4	40,274	40,274	40,274
	3. 一般機械	62,389	168.8	102.8	62,389	168.8	102.8	62,389	168.8	102.8	60,702	150.6	150.6	60,702	150.6	150.6	60,702	150.6	150.6	200,489	200,489	200,489
	(うち金型)	9,268	218.6	103.8	9,268	218.6	103.8	9,268	218.6	103.8	8,932	201.6	201.6	8,932	201.6	201.6	8,932	201.6	201.6	26,785	26,785	26,785
	4. 自動車	30,432	111.3	100.4	30,432	111.3	100.4	30,432	111.3	100.4	30,300	138.0	138.0	30,300	138.0	138.0	30,300	138.0	138.0	115,123	115,123	115,123
	(うち自動車部品)	20,645	105.1	96.6	20,645	105.1	96.6	20,645	105.1	96.6	21,372	151.2	151.2	21,372	151.2	151.2	21,372	151.2	151.2	84,015	84,015	84,015
	5. 電気機械	18,360	261.3	120.7	18,360	261.3	120.7	18,360	261.3	120.7	15,206	212.0	212.0	15,206	212.0	212.0	15,206	212.0	212.0	45,020	45,020	45,020
	精密機械	9,035	247.7	114.1	9,035	247.7	114.1	9,035	247.7	114.1	7,920	186.8	186.8	7,920	186.8	186.8	7,920	186.8	186.8	24,423	24,423	24,423
	5～6. 電気・精密計	27,395	256.7	118.5	27,395	256.7	118.5	27,395	256.7	118.5	23,126	202.4	202.4	23,126	202.4	202.4	23,126	202.4	202.4	69,443	69,443	69,443
	7. 航空機・造船・運送用機械	4,940	153.7	78.9	4,940	153.7	78.9	4,940	153.7	78.9	6,264	144.5	144.5	6,264	144.5	144.5	6,264	144.5	144.5	16,026	16,026	16,026
	(うち航空機)	1,216	106.7	70.2	1,216	106.7	70.2	1,216	106.7	70.2	1,731	133.2	133.2	1,731	133.2	133.2	1,731	133.2	133.2	4,791	4,791	4,791
3～7. 小計	125,156	160.1	104.0	125,156	160.1	104.0	125,156	160.1	104.0	120,392	153.1	153.1	120,392	153.1	153.1	120,392	153.1	153.1	401,081	401,081	401,081	
8. その他製造業	5,744	117.9	77.1	5,744	117.9	77.1	5,744	117.9	77.1	7,449	219.7	219.7	7,449	219.7	219.7	7,449	219.7	219.7	26,774	26,774	26,774	
9. 官公需・学校	484	176.0	15.2	484	176.0	15.2	484	176.0	15.2	3,185	247.0	247.0	3,185	247.0	247.0	3,185	247.0	247.0	7,349	7,349	7,349	
10. その他需要部門	3,259	148.3	95.6	3,259	148.3	95.6	3,259	148.3	95.6	3,409	125.3	125.3	3,409	125.3	125.3	3,409	125.3	125.3	10,582	10,582	10,582	
11. 商社・代理店	1,424	146.1	69.6	1,424	146.1	69.6	1,424	146.1	69.6	2,045	151.9	151.9	2,045	151.9	151.9	2,045	151.9	151.9	6,283	6,283	6,283	
1～11. 内需合計	153,267	157.4	101.2	153,267	157.4	101.2	153,267	157.4	101.2	151,485	157.3	157.3	151,485	157.3	157.3	151,485	157.3	157.3	510,324	510,324	510,324	
12. 外需	294,912	131.2	104.4	294,912	131.2	104.4	294,912	131.2	104.4	282,365	178.6	178.6	282,365	178.6	178.6	282,365	178.6	178.6	1,031,095	1,031,095	1,031,095	
1～12. 受注累計	448,179	139.1	103.3	448,179	139.1	103.3	448,179	139.1	103.3	433,850	170.9	170.9	433,850	170.9	170.9	433,850	170.9	170.9	1,541,419	1,541,419	1,541,419	
(内NC機)	439,808	138.7	103.6	439,808	138.7	103.6	439,808	138.7	103.6	424,546	171.2	171.2	424,546	171.2	171.2	424,546	171.2	171.2	1,514,935	1,514,935	1,514,935	
販売額	391,490	127.9	116.2	391,490	127.9	116.2	391,490	127.9	116.2	336,819	124.2	124.2	336,819	124.2	124.2	336,819	124.2	124.2	1,283,499	1,283,499	1,283,499	
(内NC機)	385,388	128.3	116.3	385,388	128.3	116.3	385,388	128.3	116.3	331,252	124.9	124.9	331,252	124.9	124.9	331,252	124.9	124.9	1,261,733	1,261,733	1,261,733	
受注残高	757,694	169.7	108.1	757,694	169.7	108.1	757,694	169.7	108.1	701,005	162.7	162.7	701,005	162.7	162.7	701,005	162.7	162.7	701,005	701,005	701,005	
(内NC機)	736,173	170.2	108.0	736,173	170.2	108.0	736,173	170.2	108.0	681,753	164.1	164.1	681,753	164.1	164.1	681,753	164.1	164.1	681,753	681,753	681,753	

出所 (一社)日本工作機械工業会



議事録

第127回調査広報委員会議事録

日 時：2022年2月15日（火）10:00～10:45
開催形式：リモート会議
出席者：委員長、委員5名、事務局2名

委員長挨拶の後、審議に入った。

議 事：

(1) 2021年度事業報告について

「2021年度予算対実績表」、「日工販 NEWS 寄稿先一覧（実績）」の各資料に基づき、事務局から説明し、了承を得た。

《2021年度予算対実績》

① 日工販ニュース

- コロナ禍、協会地区活動が中止になったことが主因だが、各号とも紙面が減少したことにより、予算に対し支出幅は小さくなる予定。
- 2021年度寄稿依頼実績の説明。11月号で諸般事情により2社が寄稿辞退表明あり。

② HP

会員情報にかかる変更経費が、業者既契約の管理運営費（定常経費）の中で取り扱われたことで、予算計上の会員情報変更対応費用が未使用。ただし、いずれも軽微な変更対応分のみが定常経費対象であり、新規登録等大きな変更対応については今後も予算立ては必要となる。

(2) 日工販ニュース2022年度寄稿依頼予定等について

2021年度寄稿依頼実績表と対比しながら事務局から説明。

1) 各題材について

題材選定は臨機応変でよいのではとの意見あり。題材が分かれていることは判りやすさでもあるが、書く人が好きなことを書けなくなってしまう面もあり、例えば「私の休日の過ごし方」など、その人が書きやすいテーマを寄稿者ご自身に選んでもらって書いていただく等、仕事面・プライベート面の自由題材で寄稿してもらう運用もありとの意見が出された。（後記「アンケート調査」と関連）

2) 「海外だより」題材について

題材が定着するまでの間、寄稿依頼を編集委員会社にて対応してきたが、2022年度以降、メーカー始め海外拠点を持つ会員に幅広く寄稿依頼を行うことで了承を得た。

3) 2022年度寄稿依頼先について

「2022年度寄稿依頼先（予定）」（資料）を元に事務局より説明。

過去10年の寄稿実績を基に、これまで依頼数が少ない企業を中心に選定先（案）を策定。

4) アンケート調査の実施について

2021年度から日工販 NEWS のデザイン&印刷会社を変更しているが、全会員に対し現在の日工販 NEWS に対する意見を伺い（4月実施）、委員会で集約結果を検討の上改善対応に繋げる予定。

(3) JIMTOF2022座談会の実施について

座談会は実施する方向で調整。なお、開催日は（最終日に近い）11日（金）あたりとして座談会会場を事務局にて選定。議事は直近日工販 NEWS にて掲載の予定。

以上

第111回教育委員会議事録

日 時：2022年3月1日（火）14：00～15：10
 開催形式：リモート会議
 出席者：委員長、副委員長、委員7名、事務局2名

委員長挨拶の後、議題に入った。

議 題

1. 2021年度 教育事業報告

1) 2021年度教育事業収支見込報告

収入：予算対比増はSE資格取得講座の受講者数の増加等。

支出：SE資格取得講座において1講座廃止に伴う講師料減、各種経費節減の効果。

2) 2021年基礎講座・SE資格取得講座・SE資格更新研修実施報告

① 会員区分別受講者数

受講実績、基礎講座120名（正会員80％・会員外20％）、SE資格取得講座117名（正会員87％・会員外13％）、SE資格更新研修67名（正会員70％・会員外30％）。永世SE手続きは67名が手続き。

② 日工会受注実績と受講者数

2022年度を基礎：120名、SE資格取得講座：110名、SE資格更新研修：70名、永世SE手続き：60名を推定値と設定し、日工会受注実績との相関性をグラフ化。

③ 講座別担当講師の推移

教育事業創設時からの担当講義別講師を一覧表提示。2022年度はプレス加工の担当講師変更の予定。

④ 2021年度SE研修アンケート結果_講座別満足度

基礎講座について、一部講義の「内容」に関して難しいという意見もあるが、SE資格取得講座に関してはまずまずの評価となっており、更新研修も併せ全体的な評価は悪くないものの、講師別に個別にフィードバックしており、不評意見に対しては次回に向けて対策が施されるべく対応中。

なお、「共通」して画面がぶれることに対する不評意見があるが、ビデオ収録時のプロジェクター機器不具合に起因するもので、2022年度に向けて新機種導入を検討中である。

⑤ 2021年度SE研修アンケート結果_受講者コメント

「受講者コメント」、「希望受講形式」、「今後要望のテーマ」につき、資料を基に説明。前項と同様、講師別に個別にフィードバック。

2. 2022年度 教育事業方針について

1) 2022年度SE研修開講に向けた事前調査（回答社数：51社）

※対象は全会員と、これまでにSE研修に参加した非会員の社内教育責任者。

・自由意見

基礎講座

基本は「集合」にて実習を。状況次第でビデオ配信やむなし。

SE資格取得講座・更新研修

「集合」も希望したいが、ビデオ配信の方が知識をつける観点ではメリット高。

集合3日は長い。ビデオ配信も長めに設定できないか。など

[委員会意見]

- 受講期間に関しては賛否両論あると感じる。集中してやらないといつまでたっても終わらない。
- 最近（どのような研修でも）ビデオ配信型が多い。受けやすいとは感じる。まとまった時間が取れない場合は便利なので効用は大きい面もあるが、集合型でないとなとのコミュニケーションが取れないというデメリットはある。
- webを使ったセミナーなどを社内で行ったりするが、業務と業務の間隙時間を有効に活用するなどの方策を社員にも勧めている。一方で他社の方々と意見交換もできればという考えもあるので、ハイブリッド的な形式の採用もありだと考えている。
- 受講者の希望受講形式アンケート回答で、「どちらでもよい」までを含めるとSE資格更新研修はほぼすべて、SE資格取得講座でも4分の3はビデオ配信形式を望んでいる。基礎講座も70%程度にはなるが、講座特性として機械を見ることが出来ないというデメリットは残る。
ただ、日工大の研修会場のキャパシティおよび感染機会減少の観点をも考慮し、座学をビデオ配信形式、希望者に対して実習や機械の見学を行うという方策を取ることは可能と感じる。
- SE資格更新研修については、アンケート結果からビデオ配信形式にしても問題はないが、SE資格取得講座については（現在3会場設定している会場のうち）一部会場のみを集合形式にして、他はビデオ配信形式にする・・・という方法もある。

[実現に向けた方向性]

- 前出までの意見を踏まえ、
基礎講座：日工大との調整の上、座学+実習・機械見学（※）のプログラムの可能性を検討。
SE講座：ハイブリッド（一部会場を集合形式化+他はビデオ配信形式）形式の取入れ。
にて事務局にて再検討。
いかなる形態・手法を取っても様々に問題は出てくると想定されるため、前述にて進めることで全員一致。
- 受講予定者数**
基礎講座 107名、SE資格取得講座 115名、SE資格更新研修 74名となっている。
これを踏まえた予算立てを推考してみることにしたい。

2) 募集要項

ビデオ配信形式であれば基礎講座を6月、SE資格取得講座を10月、SE資格更新研修を11月として想定している。集合形式用として会場は予約済。

3) 予算案

開講形式に応じた予算案を提示。前出（基礎講座の実習取込み／SE資格取得講座のハイブリッド型の採用）も考慮に入れた上で再考の上、後日別案を提示する。

3. その他

副委員長の役職辞任のお申し出に対し、「相談役」として委員会への引き続きのご参画を依頼。

以上

第297回定例理事会議事録

日 時：2022年3月2日（水）14:30～16:45

開催形式：WEB開催

出席者：会長、副会長3名、専務理事、理事25名、監事2名

会長挨拶の後、審議に入った。

【付議事項】 専務理事より説明

(1) 2021年度収支見込：

新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動ができず一般会計は収入が支出を上回る見込み。教育特別会計は皆様のご尽力で受講申込み者が予算より多くこれも収入が支出を上回る見込み。
→全理事了承。

(2) 2022年度事業計画：

事務局作成の原案に本年度開催のJIMTOF関係を加えたものを再度提示。主担当は調査広報委員会。
→全理事了承。

(3) 電子帳簿保存法に対応するため「事務処理規定」を定める件：

会計士と相談の上、本事務処理規定を作成しておくべきと判断し作成するもの。
→全理事異議なく承認。但し、「令和」表記は西暦表記に変更する。

(4) 50周年記念行事開催時期：

6月の総会と同時開催は難しいと判断し10月21日に開催する方向で進めることにしたい。
→全理事異議なく承認。

(5) 2022年度会費：

現在の「暫定会費」を2022年度も継続することで全理事了承。

(6) Grinding Technology Japan 2023 協賛名義使用の件：

全理事異議なく了承。

(7) 日工会70周年記念日刊工業新聞特別企画：

日工会70周年記念式典（3月18日）に合わせた日刊工業新聞の広告企画に日工販として参画。
→全理事異議なく承認。

(8) 本年末の忘年懇親会：

日程見直しが必要となり、調整の上追ってご連絡をすることで全理事了承。
（※理事会終了後調整し、11月30日西部・12月1日中部・12月2日東部に変更。）

【報告事項】

(1) 調査広報委員会（2/15）

金子委員長から説明。21年度事業報告、22年度事業計画を協議。22年度事業計画では日工販ニュースの「海外便り」の依頼先を全会員に広げる。日工販ニュースの内容を更に充実させるため、同ニュースへの評価のアンケート調査を実施する。JIMTOFでの座談会開催。

(2) 教育委員会（3/1）

池浦委員長から説明。

21年度受講生募集協力への謝意表明。受講生による講師アンケート調査フィードバック。基礎講座の実習可能性検討。山下委員の副委員長辞任と相談役への就任。

(3) 2021年度 行事予定・実績

21年度は思うような活動ができなかったが、コロナ下でも活動についてのご意見ご希望は引き続き頂きたい。

(4) 流通動態調査2021年12月実績、市況見通し

(5) 賛助会員退会（倉敷機械）

以上

■ 会員消息

退会 《賛助メーカー》 倉敷機械株式会社 (2022年4月30日)
合併 《賛助リース》 近畿総合リース株式会社 (2022年3月31日にJA三井リース株式会社に事業承継)

■ 編集後記

コロナ感染はなかなか終息の兆しが見えませんが、季節は短かった春が終わり新緑の季節を迎えており、変わらない時の移りを感じさせてくれています。

今年のゴールデンウィークは最大で10連休の超大型となり、また三年ぶりの外出自粛要請の無い大型連休ということで、万全な感染対策をして久しぶりの旅行に出かけた方も多かったのではないのでしょうか。

旅行先の候補として私の生まれ故郷である長野市の紹介を少し。長野市と言えば善光寺が有名ですが、今年は7年に一度の御開帳で賑わっています。御開帳とは絶対秘仏である御本尊代わりに、まったく同じお姿の「前立本尊」をお参りいただく盛儀のことです。

また戸隠蕎麦に代表される蕎麦も有名で、この季節には取れたての山菜の天婦羅と一緒に新蕎麦を味わうことが出来ます。善光寺参りのあと、遅咲きの桜を楽しみながら信州地酒と蕎麦と山菜を堪能できる、この季節の信州は最高なのです。

信州旅行、来年のゴールデンウィークに是非ご検討してみてください。残念ながら御開帳は7年後ではありませんが。

ちなみに今年の御開帳は通常より1か月延長して6月29日までとなっています！ (金子 (隆))

4月下旬に気象庁が出した予報では、5月から7月の平均気温(予想)として、40-50%方平年より高くなるという確率のようです。6月から7月に梅雨があけた後、今夏の暑さは厳しくなると見込まれます。本号が皆様のお手元に届くころには、初夏の暑さを迎えている場所もあるのではないのでしょうか。

ところで、今年5月のゴールデンウィークは最大10連休、日本国内はまん延防止等重点措置等自粛が解除されていることもあり、レジャーに出かける人も多くなりました。海外関係でもコロナに対する待機期間の短縮で旅行者数が増え、観光産業、航空や鉄道会社にとっても明るいニュースとなりました。また、4月に発表された大手シンクタンクの予想では、ロシアのウクライナ侵攻が日本経済に与える影響に注意が必要ではあるものの、サービス消費が増加に転じ、供給制約の緩和を受けた製造業の生産活動の回復も、輸出や設備投資を押し上げることで高めの成長が実現する見通しとのことでした。

景気が回復し経済活動も活発化していく一方で、気温が高めと予想されている今年の夏、電力が供給不足とならぬよう個人でも会社でも工夫して「節電」に努め、「良い夏」を過ごしたいと思います。 (中村)

お問い合わせ・ご意見をお寄せください。 ■ E-mail : jmta@nikkohan.or.jp

日工販NEWS May 2022

2022年5月発行

発行 日本工作機械販売協会
〒108-0014 東京都港区芝5-26-30 専売ビル3階
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879

発行責任者 専務理事 中島 和彦

編集 日工販調査広報委員会
委員長 金子 隆視 (丸紅テクノシステム株式会社)
委員 君村 義人 (伊藤忠マシンテクノス株式会社)
中村 龍二 (株式会社トミタ)
金子 智彦 (三菱商事テクノス株式会社)
長友林太郎 (株式会社牧野フライス製作所)
吉田 夢輝 (三井住友ファイナンス&リース株式会社)

制作・印刷 株式会社昌文社
〒108-0014 東京都港区芝5-26-30
電話 03-3452-4931 <http://www.sho-shiba.com>

正会員 (全80社)

東部地区 (35社)

(株) 旭 商 工 社
 アルビテクノロジー(株)
 伊藤忠マシテクノス(株)
 イワイ機械(株)
 (株) ウインテック
 大石機械(株)
 (株) カナデン
 (株) カネコ・コーポレーション
 (株) 兼松 K G K
 (株) 京二機
 (株) 共和工機
 (株) 群馬工機興
 (株) 小林機械
 (株) 佐藤商事
 (株) 三機商會
 三洋マシン(株)
 サンワ産業(株)
 シマモト技研(株)
 住友商事マシネックス(株)
 (株) セイロジャパン
 誠和エンジニアリング(株)
 双日マシナリー(株)
 帝通エンジニアリング(株)
 (株) テヅカ
 (株) トミタ
 (株) 豊通マシナリー
 (株) N a l T O
 日鋼 Y P K 商事(株)
 丸紅テクノシステム(株)
 三井物産マシテック(株)
 三菱商事テクノス(株)
 (株) ヤマモリ
 ユアサ商事(株)
 米沢工機(株)

中部地区 (23社)

石原商事(株)
 (株) 高井機販
 岡谷機械(株)
 力ト一機(株)
 釜屋機械商事(株)
 岐阜機商事(株)
 甲信商事(株)
 三栄商事(株)
 (株) サンコ一商事
 三立興産(株)
 下野機械(株)
 (株) 大成誠會
 (株) 大和商會
 (株) 日本東機商會

浜 松 貿 易 (株)
 (株) 不二
 メルダシステムエンジニアリング(株)
 山下機械(株)
 (株) U - M A C H I N E
 ワシノ商事(株)

西部地区 (22社)

赤 澤 機 械 (株)
 伊 吹 産 業 (株)
 植 田 機 械 (株)
 関 西 機 械 (株)
 京 華 産 業 事 (株)
 合 田 商 事 (株)
 五 誠 機 械 産 業 (株)
 桜 井 機 械 (株)
 (株) ジーネックス
 (株) ダイイチテクノス
 大 幸 産 業 (株)
 (株) 立花エレテック
 (株) タナカ力善
 西 川 産 業 (株)
 日 工 機 材 (株)
 (株) ニッツマシナリー
 (株) 日本産商
 (株) マックマシンツール
 (株) マルカ
 宮 脇 機 械 プ ラ ン ト (株)
 (株) 山善
 (株) ユーエイ

賛助会員 (全76社)

製造業 (67社)

アイダエンジニアリング(株)
 (株) アマダマシナリー
 育 良 精 機 (株)
 エヌティーツール(株)
 (株) MSTコーポレーション
 (同) L N S ジ ャ パ ン
 エ ン シ ュ ウ (株)
 オ ー エ ス ジ ー (株)
 (株) オーエム製作所
 オ ー ク マ (株)
 O K K (株)
 (株) 岡本工作機械製作所
 (株) 神崎高級工機製作所
 (株) 北川鉄工所
 キ タ ム ラ 機 械 (株)
 (株) 北村製作所
 (株) キヤドマック
 キ ャ ム タ ス (株)
 黒 田 精 工 (株)
 三 愛 エ コ シ ス テ ム (株)
 サ ン ド ビ ッ ク (株)
 三 宝 精 機 工 業 株 式 会 社
 (株) C & G システムズ

(株) ジェイテクト
 (株) シギヤ精機製作所
 シチズンマシナリー(株)
 芝 浦 機 械 (株)
 シ ー メ ン ス (株)
 新 日 本 工 機 (株)
 住 友 電 気 工 業 (株)
 (株) ソンデイツク
 大 日 金 属 工 業 (株)
 (株) 太陽工業機
 高 松 機 械 工 業 (株)
 (株) 滝澤鉄工所
 (株) ツガミ
 津 田 駒 工 業 (株)
 D M G 森 精 機 (株)
 (株) 東京精機工作所
 (株) 東京精密
 東 洋 精 機 工 業 (株)
 (株) ナガセインテグレックス
 中 村 留 精 密 工 業 (株)
 (株) 西田機械工作所
 (株) 日研工作所
 (株) 日進製作所
 日 本 電 産 マ シ ン ツ ー ル (株)
 ハ イ デ ン ハ イ ン (株)
 (株) 初田製作所
 濱 井 産 業 (株)
 浜 名 エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)
 B I G D A I S H O W A (株)
 フ ァ ナ ッ ク (株)
 (株) F U J I
 ブ ラ ザ ー 工 業 (株)
 豊 和 工 業 (株)
 牧 野 フ ラ イ ス 精 機 (株)
 (株) 牧野フライス製作所
 (株) 松浦機械製作所
 三 井 精 機 工 業 (株)
 (株) ミットヨ
 三 菱 電 機 (株)
 三 菱 マ テ リ ア ル (株)
 (株) M O L D I N O
 安 田 工 業 (株)
 ヤ マ ザ キ マ ザ ッ ク (株)
 吉 川 鐵 工 (株)

リース業 (9社)

共 友 リ ー ス (株)
 J A 三 井 リ ー ス (株)
 十 六 リ ー ス (株)
 首 都 圏 リ ー ス (株)
 昭 和 リ ー ス (株)
 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)
 三井住友ファイナンス&リース(株)
 三 菱 H C キ ャ ピ タ ル (株)
 三 菱 電 機 ク レ ジ ッ ト (株)



日本工作機械販売協会

JAPAN MACHINE TOOL DISTRIBUTORS ASSOCIATION

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-30 専売ビル

TEL.03-3454-7951 FAX.03-3452-7879

<http://www.nikkohan.or.jp>